



世工振ニュース

編集・発行
 公益社団法人 世田谷工業振興協会
 〒154-0004 世田谷区太子堂 2-16-7
 世田谷産業プラザ 2階
 TEL (03) 3421-2863 FAX (03) 3422-4777
 E-mail: info@setagaya-ia.or.jp
 URL: https://www.setagaya-ia.or.jp/

【世工振】新春経済講演会（1月14日開催報告）

本年の新春経済講演会では、メディア等にも多数ご出演の寺島実郎氏をお迎えし、「2022年への視座」と題し、コロナ後の世界をどう見るか、世界経済の中での日本、21世紀における構造変化、などについてご講演をいただきました。（会場参加者41名、オンライン参加者45名）

冒頭、ご自身が世田谷区民でもある寺島氏は、学生時代に玉電で通学した思い出等お話しになり、「世田谷区にもものづくりの基盤があることに驚いた」と述べられました。



本題に入り、まずは現在のコロナ禍について、100年前のスペイン風邪と比較し、ウイルス特定により対策可能であることの幸いと、今後の見通しについて、致死率の低下、弱毒化のプロセスに入っているとの認識を示されました。

続いて、日本の経済状況については、「まあまあうまくいっている」といった誤った認識を捨て、健全な危機感を持たないと日本の再建はない、と警鐘を鳴らされました。世界における日本のGDPシェアは94年のピークから1/3程度に埋没しており、またアベノミクスの目標も大幅な未達、菅政権ではCO2の大幅削減を掲げるも、実現するための産業政策が明確ではなかった、この状況下で日本に問われるべきものは、「サステナブル」ではなく「デベロップメント」である、と論じられています。

日本の産業力が低下する一方で、世界で見るとGAFAM(*)の株式時価総額が日本のGDPを追い越す事態となっており、国産ワクチン開発の出遅れや、MRJ(国産ジェット旅客機開発)の挫折等は、総合エンジニアリング力に欠ける日本の教訓的事例である、とされています。

今後日本の進むべき方向としては、国際関係では東南アジアを中心としたアジアのダイナミズムを日本の成長力にどう引き寄せられるかが鍵となり、産業では、DXとしてデータリズムでいかに戦略的なビジネスモデルが作れるか、ということに加え、ファンダメンタルズとして「食」「農」「医療」「防災」などが今後益々重要になってくる、つまり「豊かさ」を追い求める経済から「国民の安全と安定のため」の産業構造に建て直していく必要がある、と論じられました。



(*) GAFAM : Google, Amazon, Facebook, Apple, Microsoft の頭文字をとった総称

【世工振】新型コロナウイルスの影響等、現状アンケート集計結果

- ・調査期間: 2021年12月23日より2022年1月14日
- ・調査対象: 世田谷工業振興協会 会員企業139社
- ・有効回答数: 34社、回答率25%
 （建設7社 製造18社 卸・小売5社 サービス3社 その他1社）

【結果概要】 回答企業の半数以上(62%*)で、依然コロナの悪影響が継続。

(* 2020年10月調査では82% →2割程度は改善か?)

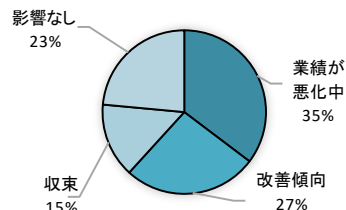
そのうち半数以上(62%)では、損益が悪化しているとの回答が寄せられた。
 影響の発生事象としては、仕入れの遅延や、原材料費の上昇が多数寄せられており
 損益悪化の一要因となっていることが想定される。
 また、資金繰りは依然厳しく、助成金の活用や、融資などの対策を実施している。

(裏面につづく)

Q1. 一昨年(2020年)と比べ新型コロナウイルス発生による業績への影響は現在(2021年末)どのような状況ですか。

有効回答社数34社

影響の状況	社数	割合
業績が悪化中	12	35.3%
悪化したが現在は改善傾向	9	26.5%
影響は収束した	5	14.7%
影響はもともとない	8	23.5%
その他	0	0.0%

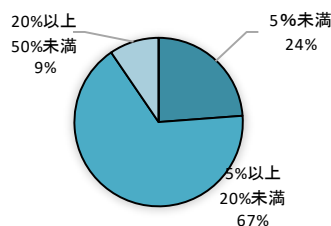


Q2. Q1で「業績が悪化中」、「悪化したが現在改善傾向」と回答された方への設問です。

有効回答34社中21社が対象

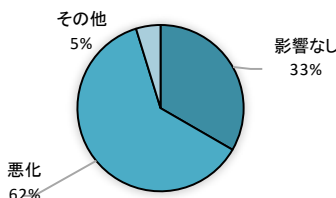
① 一昨年(2020年)と比較し、売上等どの程度減少しましたか、もしくは、しそうですか。

減少幅	社数	割合
5%未満	5	23.8%
5%以上～20%未満	14	66.7%
20%以上～50%未満	2	9.5%
50%以上	0	0.0%



② 一昨年(2020年)と比較し、収益は悪化しましたか。

減少幅	社数	割合
影響なし	7	33.3%
悪化	13	61.9%
その他(改善)	1	4.8%



③ 新型コロナウイルスにより現在(2021年末)発生している影響事象と、その状況。(複数回答可)

影響事象	継続(→)		悪化(↓)		改善(↑)	
	社数(n)	割合(n/21)	社数(n)	割合(n/21)	社数(n)	割合(n/21)
取引先からの発注減少	9	42.9%	5	23.8%	7	33.3%
取引先からの新規取引案件の停止	7	33.3%	8	38.1%	5	23.8%
海外取引の減少	5	23.8%	0	0.0%	3	14.3%
仕入先からの納品停止や遅延	3	14.3%	10	47.6%	2	9.5%
原材料費等の上昇	3	14.3%	15	71.4%	1	4.8%
資金繰りの悪化	13	61.9%	2	9.5%	2	9.5%

④ 新型コロナウイルス感染拡大により昨年(2021年)実施した対策。(複数回答可)

影響事象	実施済		検討中		合計	
	社数(n)	割合(n/21)	社数(n)	割合(n/21)	社数(n)	割合(n/21)
生産・販売計画の見直し	10	47.6%	5	23.8%	15	71.4%
設備投資の中止、延期、縮小	8	38.1%	4	19.0%	12	57.1%
国、都、区の助成、支援制度の活用	19	90.5%	1	4.8%	20	95.2%
金融機関からの資金調達	14	66.7%	3	14.3%	17	81.0%
事業の縮小	2	9.5%	2	9.5%	4	19.0%
従業員の解雇	2	9.5%	2	9.5%	4	19.0%

Q3～Q4. 現在の経営課題、および関心のあるテーマ。(複数回答可)

経営課題	社数
販路拡大	10
新分野への参入	6
人員の適正化	7
コスト削減	10
資金調達	5
事業承継	8
デジタル化、IT活用	8
感染症対策	9
その他	2

関心のあるテーマ	社数
DX(デジタルトランスフォーメーション)	6
SDGs・カーボンニュートラル	7
中国などアジアの動向	8
アメリカ経済の動向	7
国内経済の動向	22
新型コロナの終息	21
新たな感染症	10
その他	2

以上がアンケート結果のまとめです。ご協力ありがとうございました。